

平成21年度 京丹後市病院事業会計決算の概要

1 平成21年度の決算状況

**営業成績を表す収益的収支は、合併後初の黒字。
収益的収支と資本的収支との事業全体の資金を表す単年度
資金収支は、2年連続で黒字。**

**収益的収支は約9,000万円の黒字（2病院計）
単年度資金収支は約7,400万円の黒字（2病院計）**

平成20年度に「市立病院改革プラン」を策定し、医師不足をはじめとする厳しい経営環境の中にあいながらも、年度当初からプラン数値達成に向けて病院長を先頭に職員全体で取り組んでいただき、病院事業経営の改善に努めていただきました。

【収益的収入及び支出内訳】・・・企業の営業活動などに伴う収支

入院患者数の増加(久)による入院収益の増加や経費等の削減(弥)に伴い黒字に。

市病院事業	収益 55億7,605万円	費用 54億8,682万円	純利益 8,923万円
弥栄病院	収益 32億2,772万円	費用 31億8,359万円	純利益 4,413万円
久美浜病院	収益 23億4,833万円	費用 23億0,323万円	純利益 4,510万円

当年度純利益 8,923万円（^⑳△1億300万円）（^⑲△3億9,743万円）

年度末累積欠損金 43億8,992万円（^⑳44億7,915万円）（^⑲43億7,615万円）

【資本的収入及び支出内訳】・・・企業の建設改良事業など投資活動に伴う収支

形式収支は赤字であるが、赤字額以上の補てん財源を確保。

市病院事業	収入 6億3,932万円	支出 8億5,642万円	差引 △2億1,710万円
弥栄病院	収入 3億6,180万円	支出 4億8,977万円	差引 △1億2,797万円
久美浜病院	収入 2億7,752万円	支出 3億6,665万円	差引 △ 8,913万円

形式収支△2億1,710万円+翌年度繰越財源△4,685万円=a 資本的収支△2億6,395万円

a+b 補てん財源 3億5,985万円=c 平成21年度末内部留保資金 9,590万円

2 資金剰余（不足）額の状況

【単年度資金収支】・・・収益的収支と資本的収支の病院事業全体の資金の状況を表す数値

単年度資金収支は、2年連続の黒字。収益的収支の改善に伴い内部留保資金が増加し、その結果、平成21年度末も資金不足額はなしとなった。健全化判断比率の資金不足比率は、0.0%（~~20~~0.0%~~19~~23.3%）

市病院事業	7,364万円	(20 2,228万円)
弥栄病院	△943万円	(20 △555万円)
久美浜病院	8,307万円	(20 2,783万円)

3 京丹後市立病院改革プランの達成状況

数値目標、久美浜病院はすべて達成

弥栄病院は病床利用率のみ未達成

()内は、目標数値

	市病院事業	弥栄病院	久美浜病院
① 経常収支比率	101.9% (97.7%)	101.9% (98.6%)	102.0% (96.3%)
② 職員給与費対医業収益比率	58.8% (60.2%)	58.0% (59.0%)	59.9% (62.2%)
③ 病床利用率	—	79.2% (80.0%)	89.0% (87.0%)

※ 久美浜病院では院外処方を実施しており、外来の薬の売上げ分が医業収益に反映されない。「職員給与費対医業収益比率」における弥栄病院との比較では、この違いがある。